

学内発表会へ丁寧

八学大短大部 流し踊りを練習

八戸

八戸市の八戸学院大学短期大学部で11日、「八戸小唄流し踊り」の講習が行われた。幼児保育学科の1年生83人が日本舞踊泉流師範の泉彩菜さんの指導を受け、郷土の踊りを学んだ。

同校は毎年7月に行われる八戸小唄流し踊りに参加していた。今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年に続き中止となったが、八戸の伝統を学び、次世代に継承していきたいとの思いから練習している。今後も練習を続け、7月16日に

は学内での発表会を予定している。

同校体育館で行った練習で泉さんは「指先を意識して」「足をそろえて」とアドバイス。学生は泉さんの手足の動きをまねしながら所作を一つ一つ



泉さん（手前）の動きをまねしながら踊りを学ぶ学生

確認していた。最初はぎこちない動きだったが徐々に慣れ、滑らかな動きを身に付けていた。

初めて踊ったという築場柚希さん(18)は「手の動きが難しかった。流し踊りの中止は残念だが学内の発表できれいに踊り、見ている人を元気にできれば」と話した。

泉さんは「とても上達があった。学内の発表会に向けさらに練習し、八戸小唄流し踊りの魅力を見ている人に伝えてほしい」と思いを語った。同学科の講師本吉好さんは「練習を中止してしまえば、いつか学校での活動が途絶えてしまうと思う。これからも続けていきたい」と話した。

（相澤賢斉）